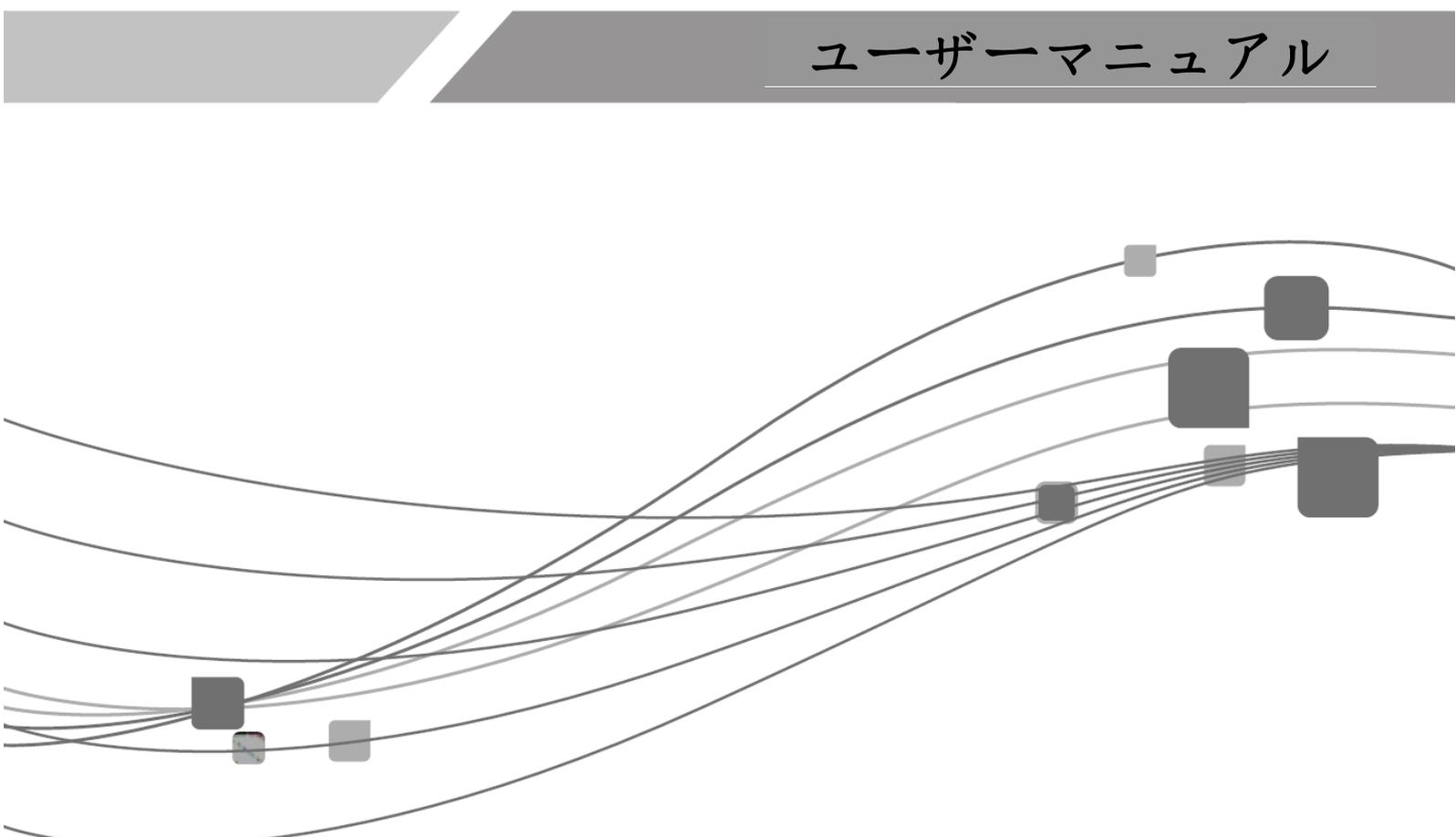


ZXHN H389A

ホームゲートウェイ

ユーザーマニュアル



ZTEコーポレーション

ZXHN H389A

ホームゲートウェイ ユーザーマニュアル

マニュアル番号：SJ-20151124142949-002

編集日時：2016-01-12(R1.0)

法律情報

Copyright © 2016 ZTE CORPORATION.

本書の内容は著作権法および国際条約により保護されています。本書や本書の一部の複製または配布については、ZTEコーポレーションから書面による事前同意を得ない限り、いかなる形式でいかなる手段によっても禁止されます。さらに、本書の内容は契約による守秘義務で保護されています。会社、ブランド、製品名はすべて、ZTEコーポレーションまたはこれらの各所有者の、商標、サービスマーク、登録商標、または登録サービスマークです。

本書は現状のまま提供され、いかなる明示、黙示もしくは法定の、保証、説明または条件（商品性の黙示保証、特定の目的に対する適切性、タイトル、非侵害が含まれるがこれらに限定されない）も拒否されます。ZTEコーポレーションとそのライセンサーは、本書に含まれる情報の使用または当該情報への依存により生じた損害に対して責任を負わないものとします。

ZTEコーポレーションまたはそのライセンサーは、本書の主題を対象とする、現行もしくは係属中の知的財産権を保有または申請できます。ZTEコーポレーションとそのライセンサーとの間で締結された書面によるライセンス契約に明記される場合を除いて、本書のユーザーは本書の主題に対するライセンスを一切取得してはいけません。

ZTEコーポレーションは、別途に通知することなく本製品のアップグレードまたは技術変更を実施する権利を保有します。

関連情報については、ZTEテクニカルサポートのウェブサイト<http://support.zte.com.cn>をご覧ください。

本製品を解釈するための基本的な権利はZTEコーポレーションに帰属します。

1 安全に関するガイドンス

1.1 安全点検

G. fastをインストールする際には、事前に以下の全項目について点検を行ってください。

1. 電気に関する保安事項

- ▶ 本装置の周辺に、可燃物、導電物、湿気を含んだ物、古いケーブルなどがないことを確認してください。電気器具はすべて安全に配置してください。

2. 装置の位置

- ▶ 本装置は、近くに電気機器がなく換気された環境に設置してください。
- ▶ 本装置は安定した平面に配置してください。
- ▶ 本装置に直射日光が当たらないようにしてください。電磁気による干渉がない状態にしてください。
- ▶ 本装置を熱源や水源から保護してください。
- ▶ 電源供給が利用可能な状態であることを確認してください。入力電圧の変動範囲は±10%とします。電源ソケットを他の電気機器と共有しないでください。

1.2 安全に関する警告事項

以下の警告事項にご注意ください。

- 本装置の使用に際しては事前にユーザーマニュアルを熟読してください。
- 本ユーザーマニュアルと製品ガイドに記載されているすべての警告事項を留意してください。
- 本装置のものではないアクセサリやコンポーネントは一切使用しないでください。
- 電源アダプタを使用してください。本装置に同梱されています。
- 本装置の上には何も置かないようにしてください。
- 本装置をぬらさず清潔な状態に保ってください。本装置の設置環境が換気されており防雨力があることを確認してください。
- 雷や激しい雷雨の時には、本装置の電源プラグとすべての接続ケーブルを外して本装置を保護してください。
- 本装置の掃除には乾いたやわらかい布を使用してください。必ず電源を切ってから掃除してください。
- 本装置の遊休時には電源を切っておいてください。

- 換気装置の穴は、詰まることのないように常に清潔に保ってください。何かが詰まると、ショート、火災、装置の破損が発生する可能性があります。本装置の表面には液体を吹きつけないでください。
- 特に電源がオンの時には本装置を開けないでください。
- 電源プラグを差し込む時や外す時には、事前に電源がオフになっていることを確認してください。
- 本装置のコンポーネントとアクセサリはすべて子どもの手が届かないところに保管してください。



注記:

本装置の使用前に、上記の安全ガイダンスをよく読んでください。上記の指示内容に従わなかったことが原因で発生した事故についてはユーザーの責任となります。

2 概要

ZXHN H389Aは高度なホームゲートウェイです。G. fastまたはGEアップリンクを通じて、高速インターネット、IPTV、ボイスオーバーIPといった各種サービスを利用できます。

2.1 機能

以下の機能をサポートしています。

- 4ギガビットのイーサネットLANインターフェース。
- 最大300Mbpsデュアルバンド並列Wi-Fi（IEEE 802.11n、2.4GHz対応機器との互換性あり）と1.3Gbps（IEEE 802.11ac、5GHz対応機器との互換性あり）に対応。
- FXS電話ポート経由での複数配線。
- IPv6ネットワーク移行用のIPv4 / IPv6デュアルスタック機構。
- TR-098データモデルやTR-104ボイスプロビジョニングなどのTR-069

2.2 製品仕様

項目	仕様
寸法	260 mm × 45 mm × 210 mm (垂直設置時) 210 mm × 55 mm × 250 mm (壁面設置時)
動作温度	0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F)
保管温度	-40 °C ~ 70 °C (-40 °F ~ 158 °F)
稼働時湿度 / 保管時湿度	5% ~ 95% (非結露)
重量	700 g (単体) 1200 g (1カートンボックス)
電源アダプタ	入力 : AC 100 V ~ 240 V、50 Hz / 60 Hz
	出力 : DC 12 V、2 A

2.3 パッケージ点検

ZXHN H389A製品の開封後、以下の物品があることを確認してください。

名称	数量
ZXHN H389A	1
電源アダプタ	1
RJ-45イーサネットケーブル	1
RJ-11電話ケーブル	2

ZXHN H389Aホームゲートウェイのユーザーマニュアル1冊が同梱されています。



注記：

間違っているものや、入っていないもの、破損しているものがあれば、サービスプロバイダにご連絡ください。製品の交換を希望される場合には、パッケージと上記物品はすべて良好な状態で保管しておいてください。



注記：

ZXHN H389Aのパッケージに合致している電源アダプタを使用してください。

2.4 システム要件

ZXHN H389Aを設置する前に、以下の項目を確認してください。

1. G.fastサービス登録

G.fastの登録を済ませている場合には、G.fastから1つ以上の有効なIPアドレスが提供されます（静的割り当てまたはダイアルアップ式の動的割り当て）。

2. コンピュータの設定

システムが10M/100M/1000Mイーサネットアダプタが搭載しており、TCP/IPプロトコルをサポートしていることを確認してください。

G. fastはブロードバンドアクセスに使用でき、さまざまなマルチメディアサービスを扱うため、Pentium III以上、64Mメモリ、10Gハードディスク、2M以上のディスプレイメモリを搭載したグラフィック処理加速アダプタ、オーディオアダプタ、サウンドボックスなどのような設定が施されたコンピュータを使用することをお勧めします。

3. オペレーティングシステム

使用できるオペレーティングシステムはWindows XP以降です。WEBインターフェースのシステム設定については、Internet Explorer V 8.0以降のブラウザです。

3 設置の準備

3.1 ハードウェア記述

フロントパネル

図3-1には、ZXHN H389Aのフロントパネルのインジケータが示されています。

図3-1 フロントパネル

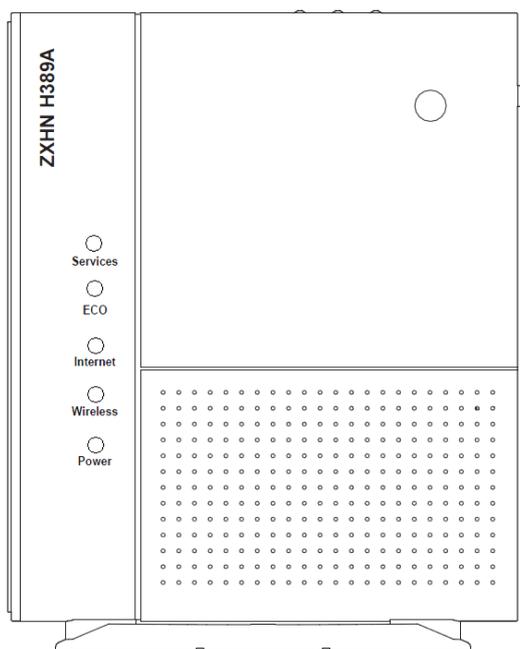


表3-1は、ZXHN H389Aユニットのフロントパネルのインジケータの説明です。

表3-1 インジケータの説明

LEDインジケータ	ステータス	説明
サービス (Services)	オフ	ITMSには設定されているサービスありません（例：SIPアカウントがない）。
	緑点灯	VoIPサービスが適切に動作しています。
	緑点滅	周波数が4Hzで、RTPとRTCPとSIPのシグナルメッセージがやり取りされていることを示しています。
	赤点灯	VoIPサービスが適切に動作していません。
エコ (ECO)	オフ	エコが無効です。
	青点灯	エコが有効です。
インターネット (Internet)	オフ	インターネットに接続されていません。
	緑点灯	インターネットに適切に接続されています。
	赤点灯	リンクネゴシエーションは完了していますがインターネットには接続されていません。

LEDインジケータ	ステータス	説明
ワイヤレス (Wireless)	オフ	Wi-Fiが無効です。
	赤点滅	周波数は4Hz、非暗号化モードは有効で、データ送信中です。
	赤点灯	非暗号化モードは有効で、送信中のデータはありません。
	オレンジ点滅	周波数は4Hz、WEPモードは有効で、データ送信中です。
	オレンジ点灯	WEPモードは有効で、送信中のデータはありません。
	緑点滅	周波数は4Hz、WPA/WPA2モードは有効で、データ送信中です。
	緑点灯	WPA/WPA2モードは有効で、送信中のデータはありません。
	青点滅	周波数は4Hzで、WPSモードは有効です。
電源 (Power)	オフ	システムに電源が供給されていません。
	緑点灯	システムに適切に電源が供給されています。
	赤点灯	メモリエラー等のシステムレベル障害により、システムを起動できません。
	青点灯	周波数は4Hzで、バージョンのアップグレード中です。
DSL	オフ	DSLラインにリンクがありません。
	緑点灯	DSLラインのリンクが適切に動作しています。

サイドパネルおよびバックパネル

図3-2には、ZXHN H389Aのサイドパネルのボタンが示されています。

図3-2 サイドパネル

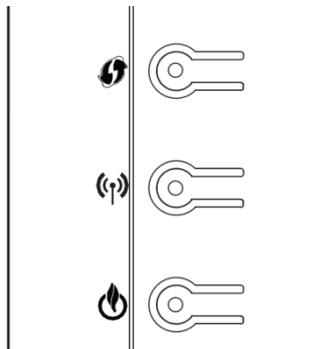


図3-2は、ZXHN H389Aのサイドパネルのボタンの説明です。

表3-2 サイドパネル

ボタン	機能
	このボタンを0.5秒以上押すと、WPS機能が有効または無効になります。
	このボタンを0.5秒以上押すと、WLAN機能が有効または無効になります。
	このボタンを0.5秒以上押すと、省エネ・環境保護機能が有効または無効になります。

図3-3には、ZXHN H389Aのバックパネルのインターフェースとボタンが示されています。

図3-3 バックパネル

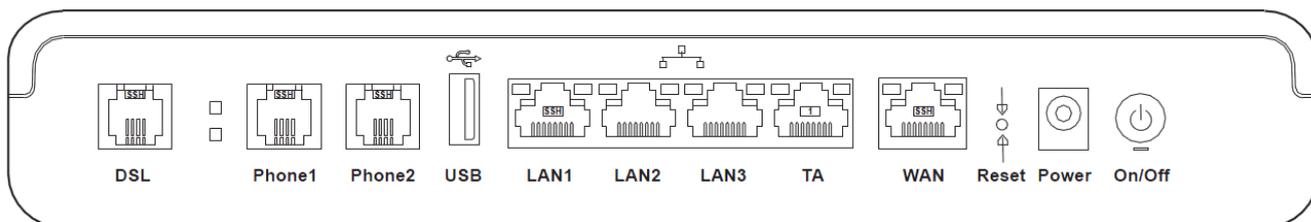


図3-3は、ZXHN H389Aのバックパネルのインターフェースとボタンの説明です。

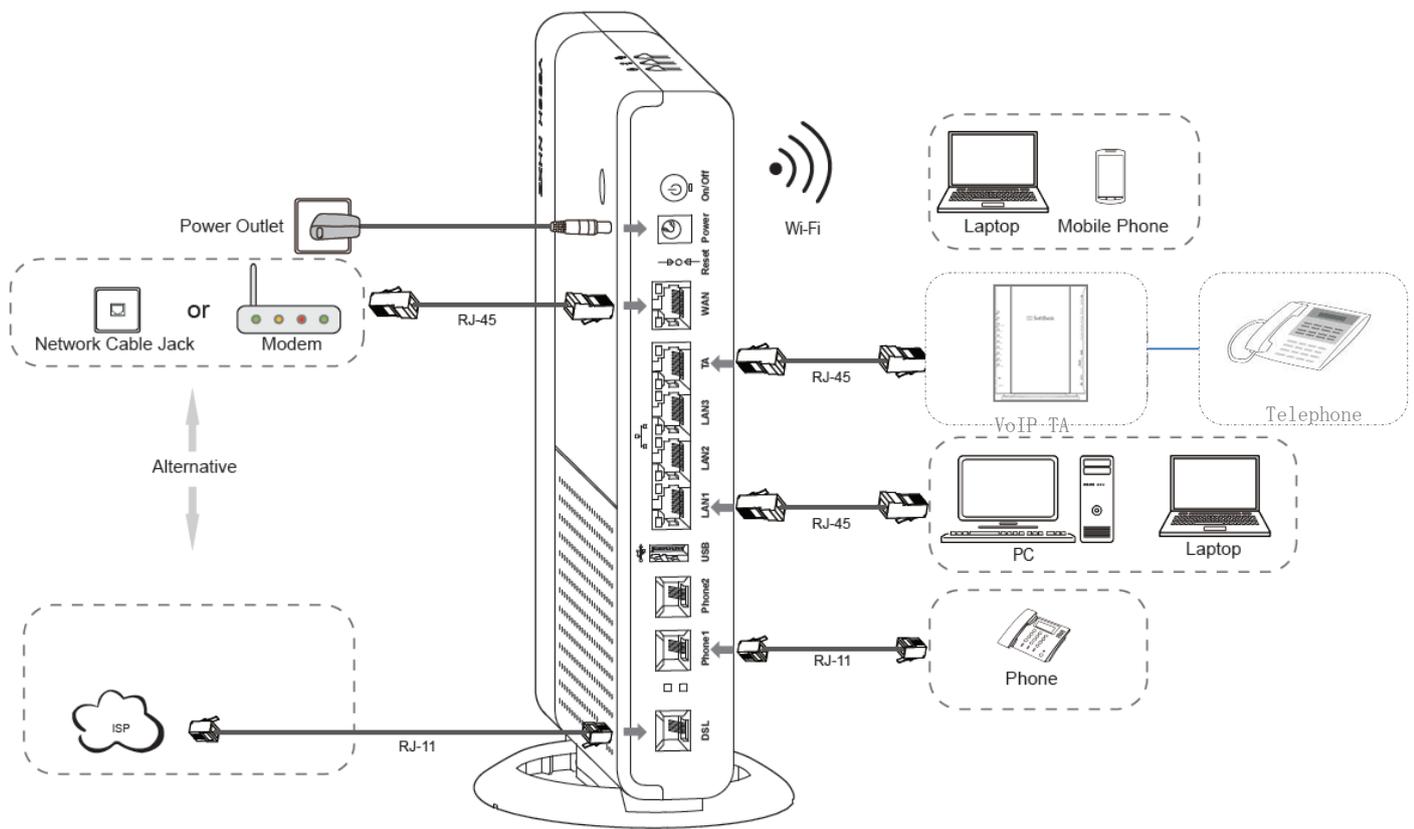
表3-3 バックパネル

インターフェース／ボタン	機能
DSL	RJ-11ポート : G. fastのアップリンクアクセスネットワークに接続する場合に使用します。
Phone1～Phone2	未サポートです、使用できません。
USB	未サポートです、使用できません。
LAN1～LAN3	RJ-45ポート。モデムをコンピュータ、STB、またはその他のネットワーク装置に接続する場合に使用します。
TA	RJ-45ポート。IP電話(VoIP TA)を接続する場合に使用します。
WAN	未サポートです、使用できません。
リセット (Reset)	電源がオンになっている時に、このボタンを5秒以上長押しすると現在の設定が出荷時の初期設定にリセットされて、システムが自動的に再起動します。
電源 (Power)	電源供給ポート。電源アダプタに接続する場合に使用します。
オン／オフ (On/Off)	電源スイッチ。本体の電源を入れる、または切ります。

3.2 ハードウェアの接続

図3-4には、ZXHN H389Aのインターフェースに接続されるデバイスが示されています。

図3-4 ケーブルの接続



デバイスをZXHN H389A本体に接続した後で、電源ボタンを押します。フロントパネルの対応インジケータがオンになっている時は、サービスプロバイダが提供するさまざまなサービスをお楽しみいただけます。

 注記:

WiFi機能があるモデルについて、例えばZXHN H389Aの場合、壁の数、壁の厚さ、壁の位置、壁の素材、天井、その他の物体がワイヤレスネットワーク範囲に影響を与えます。同時に、その素材の種類と背景のRFノイズもワイヤレスネットワークに影響を与えます。

ワイヤレスネットワーク範囲を最大化するには、以下の方法に従ってください。

1. ZXHN H389Aと他のネットワーク装置との間にある壁と天井の数を減らしてください。

壁または天井1枚で、ワイヤレスネットワーク範囲が1~30m分減ります。壁と天井の数が少なくなるように、ZXHN H389Aを適切に配置しましょう。

2. ネットワークデバイス間の直線原則に従ってください。

角度45度では、厚さ50cmの壁が厚さ1mの壁と同等になります。より多くの信号を受信するには、壁や天井を通して信号を直接伝達できるようにデバイスを配置する必要があります。

3. ワイヤレスネットワーク範囲は建物の建材の影響も受けます。

この範囲は硬い金属のドアやアルミのスタッドから影響を受けます。アクセスポイント、ワイヤレスルーター、コンピュータの配置を試して、信号が乾いた壁やオープンチャンネルを通過して伝送されるようにしてください。例えば、FRP製品、金属製品、断熱材が施された壁、ファイル棚、レンガ、コンクリートは、ワイヤレス信号を弱めます。

4. WiFi機能付きZXHN H389Aは必ず、次のデバイスと引き離しておいてください。

RFノイズを発生する電気機器や電気コンポーネントからは2m以上離してください。2.4GHzワイヤレス携帯機器やX-10（電子レンジ、家庭用セキュリティシステム、ブルートゥース機器、アイスボックス等）は、信号を大幅に弱めるか、または完全に消滅させます。



2.4GHzワイヤレス携帯機器が使用されていなくても、固定電話から発生した信号もワイヤレスネットワークに干渉します。

4 トラブルシューティング

■ ZXHN H389A本体の電源を入れても、全てのインジケータがオフになっている。

まず、ZXHN H389Aの電源アダプタを有効な電源ソケットに挿入していることと、ZXHN H389Aに電源が入っていること（スイッチボタンが押し込まれた状態）を確認してください。上記の確認後もまだインジケータがオフになっている場合、ハードウェアが破損している可能性があります。ローカルオペレータに連絡してメンテナンスを依頼してください。絶対にご自身で本装置を分解しないでください。

■ 時々、G. fastユーザーがインターネットに正常にアクセスできなくなる

まず、ZXHN H389Aが正常な状態かどうかを確認してください（本ユーザーマニュアルに従ってインジケータを点検してください）。正常な状態でしたら、コンピュータ不良かアプリケーションネットワーク不良が発生している可能性があります。これはG. fastとは無関係です。ZXHN H389Aが異常な状態である場合には、インジケータのステータスを1つ1つ確認して障害を削除してください。

オペレータに助けを求める前に、以下の項目を確認することをお勧めします。

- I. G. fast電話ケーブルコネクタは適切なものである。
- II. G. fastの近くに、電源ケーブルや、大きな電力を必要とする電気機器がない。
- III. G. fastの引込線とスプリッタの間に、接続されている電話拡張装置やファックス機がない。
- IV. スプリッタは正しく設置されている。
- V. ZXHN H389Aの放熱率は良好である

■ G. fastの同期障害（リンクダウン、リンク構築障害などとも呼ばれる）が発生する理由とは？

G. fastが実行中に突然、同期（リンクダウン）に失敗した場合は、通常、ZXHN H389Aのリンク（Link）というインジケータがオンになりません。この場合には以下の項目を確認することをお勧めします。

- I. 最初に、引込ケーブルと引込ケーブルコネクタの品質を確認します。
- II. ユーザー向けガイドランスに従って正しくZXHN H389Aを設置します。タップの数は最小限に抑えてください。
- III. 電話ケーブルとG. fastの状態が良好かどうか、または電話ケーブルが正常な状態か動かを確認します。
- IV. スプリッタの接続を解除して、ZXHN H389Aをお手持ちの引込ケーブルの端に直接接続してみてください。この問題の原因が、不適切な設置やお手持ちの引込線の質ではない事を確認します。G. fastを同期し直すことができた場合は、お手持ちの引込線の設置が不適切ということになります。ユーザーガイドに従って設置し直して下さい。
- V. ZXHN H389Aをお手持ちの引込ケーブル端に直接接続してもまだG. fastの同期障害が発生する場合には、オペレータに連絡して、外部線またはZXHN H389Aの障害が原因かどうかを確認してください。
- VI. スプリッタに障害があることが分かった場合には、オペレータに連絡してメンテナンスまたは交換を依頼してください。
- VII. この問題の原因がエンドオフィス機器の障害である場合には、オペレータに連絡して確認してください。
- VIII. スプリッタとZXHN H389Aをつなぐ接続ケーブルが長すぎると、干渉防止性能が低くなり、同期化に障害が発生する恐れがあります。したがって、この接続ケーブルが長くなり過ぎないようにしてください。

ZTE

Tomorrow never waits

認定
確認者
日付
ZTE

住所：NO. 55, Hi-tech Road South,

ShenZhen, P. R. China

郵便番号：518057

電話：+86-755-2677 1900

URL：<http://support.zte.com.cn>

メール：support@zte.com.cn